

# 入院診療計画書② 胃ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）を受けられる患者さまへ

ID:

新規作成日：2022年9月1日

氏名:

日付								
経過	1日前	術前	術後	1日後	2日後	3日後	4日後	5日後
目標	転倒予防行動ができる		合併症の症状・所見がない				治療について理解できる	
	精神的準備ができています		消化管の症状・所見がない					
	治療について理解できる		疼痛がない				食事摂取ができる	
							自己管理ができる	
注射		右手の2カ所から点滴します 午前から点滴を開始します	持続点滴 胃薬を注射します（1回）	持続点滴 胃薬を注射します（2回）		点滴終了後、針を抜きます		
投薬	中止薬を確認します	9時までに許可された薬だけ内服します	内服薬は、医師の許可があるまで中止です			内服薬を再開できるか確認します		
			胃の粘膜保護剤と出血予防の粉を混ぜて内服します	胃粘膜保護剤・止血剤を内服します (6時・10時・14時・20時/1日4回内服)			胃粘膜保護剤の内服を自己管理へ変更します (6時・10時・14時・20時/1日4回内服)	
検査	採血			早朝に採血		早朝に採血		
				胃内視鏡検査 (胃カメラ)				
放射線								
処置		検査着へ更衣します 肌着は脱いでください 内視鏡室へ車椅子で移動します						
食事	22時以降絶食 飲水（水・茶）は翌朝起床まで制限ありません	絶食 飲水は少量できます	絶食 水分は口を湿らせる程度です	胃カメラ終了まで水分は口を湿らす程度です 終了後は変更となります	絶食 医師の許可後は、飲水できます	食事開始です 水分量の制限はありません ゆっくり飲んでください	治療食です 間食・持ち込みは禁止です	
清潔	制限ありません			希望時体を拭きます			医師の許可後はシャワー浴可能です	退院の翌日から入浴 できます (ぬるめの湯で短時間)
排泄	制限ありません		安静中は尿器またはゴム便器を使用します。安静解除後は制限ありません	制限ありません				
	便が出た場合は流さずに看護師に見せてください							
活動	安静度	制限ありません		帰室後2時間ベッド上安静。以後に安静解除となります 初回の歩行は付き添います	制限ありません			
	リハビリ	予定はありません						
看護ケア	体温や血圧を測定します		体温や血圧を測定 (帰室後、30分後、1時間後、2時間後、20時頃) 合併症の観察をします		体温や血圧を測定（朝・昼・夕）、合併症の観察をします			
確認事項	入院診療計画書を説明します 同意書を確認します	入れ歯、眼鏡、指輪、時計など 身体から外せる物は全て外します						
指導	入院生活、治療の流れを説明します							退院後の生活について説明します